

「らしさ」輝く附属小



第17号 令和8年 9月 4日(金) 校長 森内 秀学

一緒に未来を育てます

9月1日、今年も95名の教育実習生を迎えて、主免教育実習がスタートしました(下)。校長講話で最初に伝えたのは、「教職とは、子どもの未来を、子ども自身と一緒に育てる仕事」だということです。今、このかわりが、子どもの未来をつくっている、変



えている…。そう考えると、怖さもありますが、これこそが、教職のやりがいの一つでもあります。

下は、各学級における実習生による自己紹介の一場面。夏休み中に集まって一生懸命練習した「さんぽ」を演奏し、自分たちを知ってもらおう、喜んでもらおうとがんばっていました。

子どもは、育つことをあきらめないでかわってくれる人には、必ず心を開きます。

そして、そういう気持ちで子どもにかかわればかわるほど、かわった側の人間も、大きく成長していきます。



自分のために懸命に準備し、向き合ってくれる人に囲まれる、幸せな9月。未来を育てる温かな期間を存分に味わえるのは、附属小の子どもたちの、大きな特権ですね。



大盛況！夏休み作品展

毎年熱心に取り組んだ作品がたくさん並び、夏休み後の廊下。これを見て友達の工夫や努力を学ぼうと、9/2(水)に作品の鑑賞会を行いました(左)。かかった時間やアイデアの面白さに感心する作品ばかりでしたが、今年度は、高学年の作品の中に、パソコンでプログラムを組んで作ったゲームが展示され、人気を博していました。時代ですねえ。



努力をねぎらい活躍を讃える

8/31(月)、1学期後期開始式のオープニングは、夏休み中も練習を重ね、コンクールでも大きな成果を挙げた金管バンド部と合唱団の演奏でした(写真)。さすがの演奏に、子どもも教員も、気持ちが奮い立つ思いでした。入部も絶賛募集中です！

